

東海市民社会ネットワーク設立 5 周年記念学習会

コロナ禍が浮き彫りにする「格差」

～今、世界と地域で起こっていること～

コロナ禍で露呈してきた社会課題に「格差」があります。日常からは見えにくいこの課題についてグローバル、ローカル双方の現状を学び、「だれ一人取り残さない」社会づくりを考えます。



1 内容

(1) 基調講演 「新型コロナに対する公正な医療アクセスをすべての人に！」

先進国のワクチンの争奪戦の中、世界人口の半数以上を占める途上国・新興国は、医薬品・ワクチンの確保に大きな不安と課題を抱えています。この課題に取り組む最前線からお話をさせていただきます。

講師 稲場雅紀さん（(特活) アフリカ日本協議会 国際保健部門）

(2) 東海地域の現場からの報告と意見交換

在住外国人の現場から

NPO 法人日本ボリビア人協会
山口ロサリオ 代表理事(三重県)

ボリビアで看護師として勤務後来日。在大阪ボリビア領事館にて生活相談員等を経て、三重労働基準監督署にて相談員を務める。1995年日本ボリビア人協会を創設し、ボリビア人の生活支援のために活躍。2010年ボリビア政府より「功労賞」を受賞。2017年優れた社会活動を顕彰する「ステファニ・レナト賞」を受賞。

生活困窮者の現場から

NPO 法人ささしまサポートセンター
藤井克彦 顧問(愛知県)

1965年に大学を卒業し、1976年から「日雇い労働者を見殺しにするな！」と支援活動を始める。1985年に仲間と「笹島労働者会館」「笹島診療所」を設立。1987年8月に会社を退職し活動を継続。1997年度愛知県弁護士会(名古屋弁護士会)人権賞受賞。共著に『偏見から共生へー名古屋発ホームレス問題を考える』

介護・医療の現場から

認定 NPO 法人まちづくりスポット
竹内ゆみ子 代表理事(岐阜県)

デザイン業を通じて NGO の活動に関わり始め、1993年 NGO ソムニード(現ムラのミライ)を立ち上げ。インドの村長さんからの質問「田舎に人が帰ってこない」がきっかけで、2000年高山市の地域づくりを開始し、2012年中間支援団体 NPO 法人まちづくりスポットを設立。介護や地域医療プロジェクトを官民連携で実施。

2 開催日時 (オンライン・無料)

2021年 **6月6日**(日)14:00～16:30

お問い合わせ・お申込み

東海市民社会ネットワーク事務局
(NPO 法人市民社会研究所)

MAIL ssk21ww@yahoo.co.jp

お申込みいただいた方に URL をお送りします

東海市民社会ネットワークは、愛知・岐阜・三重3県の NGO/NPO が連携して設立した組織です。(代表:(特活)名古屋 NGO センター、(特活)ぎふ NPO センター、(特活)みえ NPO ネットワークセンター)